# ティーチング・ポートフォリオ（教育業績ファイル）

| | |
|---|---|
| **教員氏名** | 萩原　かおり |

| | |
|---|---|
| **主な担当科目** | ヴォーカル |

| | |
|---|---|
| **2025年の教育目標・授業に臨む姿勢** | クラス授業、個人レッスンともに、理論的な説明を、そして学生が自身で考えるきっかけを作れるよう心掛けたい。<br>特に個人レッスンにおいては、学生各々の特徴を理解し、短期的な結果に捉われず、4年間を見据えた上でその能力をしっかりと育てられるような指導を行いたい。 |
| **2025年の教育に関する自己評価** | 個人レッスンは、個々人の学習成果がしっかりと顕れ、学年ごとに成長する様を感じ取ることができた。<br>クラス授業においても、基本的に演習クラスなので、常にクラス全体との関わりを意識しながら、問題点の確認、分析を心がけ、各自がそれぞれに問題解決に向けて取り組める姿勢に導くことができたのではないかと感じている。 |

| | |
|---|---|
| **2025年のFD活動に関する自己評価** | 日本国内においてはまだまだ未発達なミュージカルに関わる教育において、他学とは一線を画した理念を持ち組み立てられた本学のカリキュラムを教員間で毎回共有することによって、音楽、ダンス、演劇という異なるジャンルの専門家が集まる中でも、教員が皆、教育に対する共通理解を持ち、4年間にそれぞれの分野が力を合わせながら学生を育てて行くという意識を高めて行くことが出来たと思う。 |
| **授業改善のために取り入れた研修内容** | 学年毎に違って見えるカラーについてそれぞれの立場からご発言いただき、大学人としてどう学生達と向き合い、授業に臨むかについての良い情報交換が出来たと感じている。 |

# 2025 年度（秋学期）「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：2099　教員名：萩原　かおり

## 1）アンケート結果に対する所見

総合的にこれらの授業を受講して良かったと全ての学生が回答してくれており、良かったと思う。他国の作品を学ぶ事が文化や教養の修得に繋がっていると感じる学生が少し少ないようなので、今後はそちらについても関連性を持たせた説明などをもっと行うべきなのかもしれない。

## 2）要望への対応・改善方策

いずれも複数教員による授業であり、特定の教員に対する不満があるとの回答があったが、その教員にはすでに学生に対する態度、説明の仕方についての改善を求めた。ただし、過去のことに関する伝聞については、その学生の思い違い、または学生間の噂話のレベルと思われる。

## 3）今後の課題

学生を教育することと、プロの現場での振る舞いについての違いについて、これまでにも FD 研修会などでお話はして来たが、研修課題としてさらに踏み込んで取り上げて行ければと感じている。

以　上